

R 3 北信越大会ハンドボール競技 ガイドライン

1. 参加選手について

- (1) 保護者が事前に健康診断等を受診させるなどして、健康状態に異常がないことを確認し、参加を承認した生徒で、在学する学校の校長が参加を承認した生徒が参加資格を有する。
- (2) ガイドライン（大会への参加）を遵守できる生徒が参加資格を有する。

2. 大会について

- (1) 大会日程については、要項およびプログラムを参照。開会式、閉会式は行わないこととする。そのため、選手の集合時刻は試合時刻に合わせて、各校で調整する。
- (2) 試合後は、各チーム、オフィシャル等の仕事がなければ、すぐに退館する。
- (3) 顧問は8月3日（火）の監督会議に出席する。
- (4) 賞状・優勝カップについては、大会終了後に各校で持ち帰る。
- (5) 大会終了後、大会役員で観客席等の消毒を行う。

3. 大会への参加について

<チーム関係者>

- (1) チーム役員（顧問含む）、選手、登録外選手の生徒（3、2年生のみとし、**1年生は不参加**）は、大会2週間前から「**（別紙1）体調記録表、（別紙4）行動履歴書**」を記入し、引率者（顧問）は、大会当日、2週間分の記録内容を「**（別紙2）学校同校者体調記録表**」にまとめ記入し、富山県中体連ハンドボール専門部に提出すること。**（別紙1）体調記録表、（別紙4）行動履歴書ともに大会終了後2週間記入し、体調記録表は顧問が、行動履歴書は各自で、万が一、感染が発生した場合に備え、大会終了後、1ヶ月間保存する。**

<大会役員>

- (2) 養護教諭、審判員・TD等、大会役員のみでの参加者は、大会2週間前から「**（別紙1）体調記録表、（別紙4）行動履歴書**」を記入しておき、大会当日は、「**（別紙3）来場者体調記録表**」を記入し富山県中体連ハンドボール競技専門部に提出すること。大会中は「大会役員」のIDカードを首から掛ける。**（別紙1）体調記録表、（別紙4）行動履歴書ともに大会終了後2週間記入し、各自で、万が一、感染が発生した場合に備え、大会終了後、1ヶ月間保存する。**

- (3) 以下の事項に該当する場合は、自主的に参加を見合わせること。（大会当日に確認を行う）

- ① 生徒の体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
- ② 新型コロナウイルス感染症陽性とされた者との濃厚接触がある場合
- ③ 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
- ④ 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合

- (4) 大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、各学校、個人で県中体連ハンドボール専門部に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること。

4. 保護者・生徒・学校関係者の観戦等について

<保護者>

- ・ 無観客とし、ビデオ撮影者2名のみ許可（保護者）する。当該対戦校の試合時間のみの撮影とし、試合開始10分前からの入場とする。
- ・ 受付（1階正面入口）で「顧問の押印あり来場者体調記録表」を提出し、「ビデオ撮影者」のIDカードを受け取る。入館中は、必ず、IDカードを首からかけていることとする。試合終了後はIDカードを返却し、速やかに退館する。（各学校、保護者の観戦者名簿を事前に提出しておく）一旦、退館する場合は、受付に「ビデオ撮影者」のIDカードを返却する。再入場時に名前を確認し、「ビデオ撮影者」のIDカードを受け取る。
- ・ ビデオ撮影をする保護者は指定された場所（コートのサイドラインの上方の観客席）から撮影を行う。**※ビデオ撮影者は、選手と接触しない。（6の○2つ目を参照）**

<生徒>

- ・ 観戦する生徒（登録選手及び、登録選手以外の部員）は、各チームの指定された座席で観戦する。
※観戦者は、左右前後1つ座席を空けて使用する。
鳴り物の使用や声を出しての応援は禁止とし、拍手のみとする。

<学校関係者>

- ・ **学校関係者の観戦は、各学校2名までとする。**
- ・ 受付（1階正面入口）で「顧問の押印あり来場者体調記録表」を提出し、「学校関係者」のIDカードを受け取る。入館中は、必ず、IDカードを首からかけていることとする。試合終了後はIDカードを返却し、速やかに退館する。（各学校、学校関係者の観戦者名簿を事前に提出しておく）一旦、退館する場合は、受付に「学校関係者」のIDカードを返却する。再入場時に名前を確認し、「学校関係者」のIDカードを受け取る。
- ・ 観戦する学校関係者は、各チームの指定された座席で観戦する。
※観戦者は、左右前後1つ座席を空けて使用する。
鳴り物の使用や声を出しての応援は禁止とし、拍手のみとする。
- ・ 1階正面入口の受付では、富山県中体連ハンドボール専門部員が観戦者の入退館対応をする。2名が常駐することとする。

5. 競技中について

- ・ **競技中の選手、アップ中の選手、審判員以外は全員マスクを着用する。ベンチのチーム役員や選手もすべてマスクを着用する。マスクの管理については各チームで確認しておく。**

ただし、活動中や気候の状況等により、熱中症などの健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すよう指導する。会場の気温や湿度に注意しながら、選手の健康観察を行うとともに、こまめに給水させる。なお、**選手が試合中にマスクをつけた状態でコートに入場することはルール上認められない。**

- ・ 競技の前後は、必ず手洗い・マスク着用を行う。
- ・ 他の参加者、大会役員等との距離（できるだけ2m以上）を確保すること。
- ・ 観客席では、席を1つ空けて座ること。なお、前後でも席をずらすこと。
- ・ 各チームの座席を指定席とする。（別紙座席表参照）。
- ・ 大会の前後のミーティングにおいても、3つの密を避けること。
- ・ ハーフタイム、試合後に役員（TD）がベンチ及びボールを消毒する。換気も行う。

- ・選手、チーム役員、審判員、大会役員（TD等）は、試合前後の握手及びあいさつを取りやめる。
- ・仲間と手をつないだり肩を組んだりして行う円陣、ハイタッチなどは行わない。

以上これらのことを遵守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、大会への参加を取り消したり、途中退場を求めたりすることがある。

6. その他の注意事項・共通理解について

- ふれあいスポーツセンターへの出入口は**正面玄関のみ**とし、その他の出入口からは出入りをしない。（鍵がかかっています）
- 選手と観戦者の接触を避けるため、**選手は指定された2カ所の階段（公衆電話付近、芝生広場付近）**を使用して移動する。観戦者は、**メイン・サブアリーナ間の中央階段のみ**を使用する。
(※別紙会場図参考)
- アップ場所（屋内）について、メインアリーナでは試合前のチームが使用する。サブアリーナやランニングコース等定められた場所でアップを行ってもよいが、密を避けること。アップ場所（屋外）について、芝生を使用してもよい。芝生への出入り口について、研修室側、リラクゼーションロビー側の出入り口は閉めきりのため、**正面玄関の出入り口を使用する。**
4日、5日はサブアリーナをアップ場所として使用してもよい。ただし、前の試合前半の時間帯は次にAコートで試合を行うチーム。前の試合後半の時間帯は次にBコートで試合を行うチームが使用することとする。
- ベンチ内の控え選手は、大きな声援やかけ声は無しとする。ただし、チーム役員（監督・顧問・コーチ）は選手に指示を出すことができる。
- 選手の飲み物は、回しのみをしない。個人の水筒・ペットボトルを使用する。
- 食事（昼食等）はチームの指定席でとってよいが、座席を1つ空ける、対面を避ける、会話を避けることを徹底する。
- 更衣室は各チーム指定された場所を使用する。選手同士の間隔をとりながら使用し、換気扇を常時運転にし、使用後は換気、消毒を行う。